

# ★一番★

★  
★

小浦麻衣の  
親子

城西小5年4組 学級通信


8年12月21日(土) 発行77/90号

## 思い出の数だけ「成長」したよ!

「心をついに頑張った上学年音楽会です。」  
「みんなで取り組んで走り通せた、『35人36脚』です。」  
「頑張り通した自主学習です。」等々……。

先日行われた「X'masパーティー」で述べた、二学期の思い出です。一人一人の心に焼きついたそれは、全ひ「一生懸命」だった時の自分の姿なのです。そしてその体験が、子ども達を大きく「成長」させたのです。

今学期へのご協力・ご支援、ありがとうございました。



### ★★「輝いたぜ」!!二学期★★

- ★ O. T < h
- 自主学習を続け、字もていねいに書こうと練習し、絵も練習……。特に、自分らしさを発露して描きだした数はすばらしいものでした。而も形「言葉」のためです。
- ★ H. R < h
- 自分の考えを持って取り組んだ。R君のやさしさが表れた作品でした。北津津地区区コンクール「特選」のためです。委員会活動も責任を持って取り組んでいた姿が立派でした。
- ★ Y. K < h
- 何事にも自主で責任感があり、友達ともやさしく。学級委員長として今学期もよく頑張りました。特に、水泳記録会での大活躍は、学級の名譽のためにも努力した結果です。
- ★ K. H < h
- 発表が趣き、生き生きと自分の考えを述べるようになりました。自主学習も進んで練習しました。水泳記録会も一日でも大活躍でした。全学年で表彰「秀逸」のためです。
- ★ I. A < h
- 部活動に励み、校舎大会「1000m走」で大会新記録(3'30")を出しました。自分が納得するまで、練習したり部活したりする姿は学級の手本でしたよ。
- ★ W. T < h
- 教室で寝ている子もたっぷり生活向上運動を主体に運動の楽しさを体験し、学級をよくしようと努力しました。校舎大会「走り幅取り」で大会新記録(130m)。「やったね」

学級通信によって、自分のよさを自覚できた子は九七%、やる気を持ったことがある子は九四%であった。学級通信への感想からは、「自分のよいところが書いてあるとやる気が出る」、「私ってすごいんだ、と思うようになった」などの記述が多く見られた。四つの工夫の中で、子供のよさを見いだし、それを学級通信の中でほめてきたことが自尊の感情を高め、活動意欲をも高める上で効果

- 1 研究の成果
  - (1) 自尊の感情を高める学級通信であったか。
- 7 研究の成果と反省
- 5 抽出児の変容から (省略)
- 4 工夫4について
  - 学級通信によって、我が子のよさや学級の様子に分かるようになってきたと答える保護者が多かった。また、約五割の家庭では、我が子との話題の材料となっている。

- 2 工夫2について
  - 自主性や協働性、相互理解に好ましい変容が見られた。特に、係り活動が「自分や学級のためになった」と八割以上の児童が答えている。
- 3 工夫3について
  - 「質問し合って問題を解決したとき」を楽しみと感じている児童が増えた。また、発表への意欲も高まってきたことなどに、集団協力解決学習の有効性が認められる。

学級通信によって、自分のよさを自覚できた子は九七%、やる気を持ったことがある子は九四%であった。学級通信への感想からは、「自分のよいところが書いてあるとやる気が出る」、「私ってすごいんだ、と思うようになった」などの記述が多く見られた。四つの工夫の中で、子供のよさを見いだし、それを学級通信の中でほめてきたことが自尊の感情を高め、活動意欲をも高める上で効果

- 1 研究の成果
  - (1) 自尊の感情を高める学級通信であったか。
- 7 研究の成果と反省
- 5 抽出児の変容から (省略)
- 4 工夫4について
  - 学級通信によって、我が子のよさや学級の様子に分かるようになってきたと答える保護者が多かった。また、約五割の家庭では、我が子との話題の材料となっている。

- 2 工夫2について
  - 自主性や協働性、相互理解に好ましい変容が見られた。特に、係り活動が「自分や学級のためになった」と八割以上の児童が答えている。
- 3 工夫3について
  - 「質問し合って問題を解決したとき」を楽しみと感じている児童が増えた。また、発表への意欲も高まってきたことなどに、集団協力解決学習の有効性が認められる。

しながら、「参加型」の授業参観を工夫した。  
(4) 保護者とのコミュニケーションの工夫  
保護者の考えを積極的に掲載したり、子供たちの自主学習ノートへの励ましをお願いしたりしてきた。

- 1 工夫1について
  - 自分のよさをいくつと捉えているかを調査した結果、平均二ポイントの上昇が見られた。自分のよさを自覚し、自信を持って自己表現できる児童が育成されてきたことが、アンケートや活動する姿から感じ取ることができた。また、各手だてのアンケートでも、児童、保護者ともにその有用性を認めている。

- 2 工夫2について
  - 自主性や協働性、相互理解に好ましい変容が見られた。特に、係り活動が「自分や学級のためになった」と八割以上の児童が答えている。
- 3 工夫3について
  - 「質問し合って問題を解決したとき」を楽しみと感じている児童が増えた。また、発表への意欲も高まってきたことなどに、集団協力解決学習の有効性が認められる。
- 4 工夫4について
  - 学級通信によって、我が子のよさや学級の様子に分かるようになってきたと答える保護者が多かった。また、約五割の家庭では、我が子との話題の材料となっている。